

今月の予定

3日(水) 文化の日
9日(火) インフルエンザ予防接種
10日(水) お誕生祝膳
23日(火) 勤労感謝の日



梅のさと便り 11月号

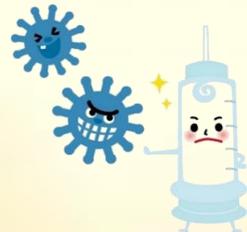
No. 381 R3. 11. 1
梅光苑 文芸部

BCP(事業継続計画)の策定にあたって

未だ新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、今年も、各地で地震や台風・風水害などの自然災害も多発しております。そんな状況の中であっても、私たち社会福祉法人は、これら頻発する災害時には、利用者へのサービス提供の継続はもちろんのこと、地域からの避難者の受け入れ等、地域においても大きな役割を果たすことが求められています。

加えて、令和3年4月介護報酬改定では、感染症や災害への対応としてBCP(事業継続計画)を策定することが、私たち法人に3年間を猶予として令和6年度までに義務化されました。

今後、梅光苑としても、社会福祉法人として、「与えられた使命」を十分に発揮するため、特養、デイ・グループホームなどと連携したBCP策定の流れや手法について積極的に取り組んで参ります。どうか皆様のご支援の程よろしく申し上げます。



かわばた邸 11月のイベント情報

毎週 水曜日 10:00~12:00 金曜日 13:30~15:30

百歳体操 (元気いきいきひろば)

8日(月) 13:30~15:30 カフェかわばた 参加費100円

なんでもおしゃべり会 みんなで楽しみましょう

13日(土) 13:30~15:30 カフェかわばた 参加費100円

ピアノの演奏会 松永浩二様 楽しみですね!!



※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更の可能性があります。
ご確認ください。

新型コロナウイルス・インフルエンザなど 感染対策に全力で取り組みます

これからの季節、朝晩の温度差が大きくなり、空気も乾燥することで体調管理が大変難しくなります。併せて、新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症への対策が急務となります。

その一環として、ご利用者や職員には、新型コロナワクチン予防接種を6月末までに二回の接種を完了し、インフルエンザの予防接種は、11月9日(火)、ご利用者や職員へ実施します。これら感染症の集団発生を防ぐことが、ご利用者の大切な生命を守ることに繋がりますし、私たち職員の大切な使命でもあります。

秋の運動会を開催しました

十月中旬、一棟、二棟のご利用者が、屋内ホールで秋の運動会を楽しみました。「ラジオ体操」から始まり、「選手宣誓」、「玉入れ競争」、「お手玉リレー」、「ジョア徒競走」で紅白に分かれて競いました。

日頃は、穏やかなご利用者も、この日はばかりは大声を出して玉入れやお手玉運びなどに熱中していました。「今年は残念じゃったけど、来年は負けんからね」と早くも来年の運動会に思いを巡らせていました。



『深まる秋 口ずさみたくなる一曲は？』

特別養護老人ホーム梅光苑

「村の鎮守の神様の〜ドンドンチャラ♪ ドンチャラ〜♪朝から聞こえる笛太鼓♪〜」ご利用者の元気な声と太鼓の音が棟ホールに響きました。

歌と太鼓の音は、秋を代表する童謡「村まつり」。10月18日(月)、音楽療法の中で「深まる秋 歌いたくなる歌」の一曲として皆さんと一緒に歌いました。

「秋と言えば、やっぱり、ドンドンチャラ♪ ドンチャラ〜♪じゃね」と笑顔で話すAさん。「私の故郷の徳佐のお祭りは、『春のさくら祭り』、『秋の豊年祭り』が地域の大切な年中行事でした。参道には屋台が並び、綿菓子や饅頭などを売っていました。境内では子供相撲もやっちゃった。みんな活気があったねー」と深まる秋を感じながら、当時は懐かしんでいました。



グループホーム 希望の里

グループホーム希望の里では日課として、ラジオ体操や機能体操（ストレッチ体操）を行っています。その際に発声訓練として歌のレクリエーションも取り入れ、元気よく皆さんと唄いながら日々過ごしております。

そこで「深まる秋に唄いたくなる曲は」とご利用者に尋ねたところ、大半のご利用者が「故郷」と答えられていました。やはり日本人は、この名曲である「故郷」を唄いながら、秋愁の寂しい想いを味わいながら口ずさみたくなるようですね。

ご利用者の中には「この曲を唄う時は気持ちを込めて唄っているよ」と言われる方もいらっしゃいました。今後も歌のレクリエーションの最後の大トリとして、この「故郷」を唄い続けていきたいと思っております。



居宅介護支援事業所

最近、自宅の庭に、裏山のどんぐりの実がたくさん落ちてきます。風のある日は裏庭がどんぐりの実と葉で埋め尽くされるくらいの多さです。

でも、そのどんぐりを見るとうれしくも懐かしくもなります。掃き掃除の際にはつい「どんぐりころころ」と口ずさんでいます。

このどんぐりがすべて落ちきる頃には冬の風が身に染みる季節になるのだろうと思い少し切なくもなる今日この頃です。



梅の里 かわばた邸（地域連携室）

かわばた邸に来られるみなさんは、60代から90代と幅広い年齢。それぞれに耳になじんだ歌も少し違いますが、秋の定番はやっぱり『もみじ』ですね。

体操の際に足踏みをしながら歌うと大きな声で2番の歌詞までしっかりみなさんの頭に入っています。歌っていると山々の紅葉が目に見え始めるのだと言われます。今年は美しい紅葉を見に出かけることが出来そうですね。

他にも『赤とんぼ』『里の秋』『コスモス』とそれぞれ好きな歌を教えてくださいました。

ちなみに最近話題になったのは『どんぐりころころ』の3番の歌詞。ある保育士さんが、泣いているだけではかわいそうだとつくられた歌詞だそうです。「どんぐりころころ 泣いてたら 仲良し子りすが 飛んできて 葉っぱにくるんで おんぶして もとのお山に 連れてった」です。みなさんも歌ってみませんか。



デイサービス

秋の曲は・・・『赤とんぼ、もみじ、小さい秋みつけた、トンボのメガネ、旅愁』と童謡が中心となりました。幼いころから知っていたり秋を連想する言葉が題名となっているからかと思われれます。

デイサービスの利用時に童謡を歌う時間があります。皆さんにとって歌いやすいよう見受けられます。

それぞれの歌にいろいろな意味もあるので、これまで経験されたことと重なる部分もあるのではないかと思います。

中には口ずさみながら、昔を思い出され、どんな生活だったか教えて下さる方もいます。便利な世の中になってはいますが、昔は昔で良かったとも言われており、その時代の良さを教えていただいています。



訪問介護

ご利用者様に秋に口ずさみたくなる曲を聞いてみました。

「秋になると家族で紅葉を見に行き、まっかな秋やもみじと一緒に歌いながら歩いたことを思い出すね」とおっしゃられていました。

またたくさん思い出がくれるよういつまでもお元気に過ごしていただきたいと思っておりました。



グループホーム 陶ヶ岳

秋の歌は何があるか利用者に聞いてみると、ほとんどの方が「あ〜きの夕日に 照る山もみじ〜」と歌われました。「秋」から始まるので、一番最初に思い出しますね。「もみじ」の歌は、歌詞もメロディーも情緒があって素敵です。

